



5年生として過ごす日々

4月にスタートして、日々の授業や活動、様々な行事などがありました。気付けば3月を迎え、ゴールが近づいています。

3月に入り、5年生として学校で過ごすのも、残り10日を切りました。子ども達も「もう3月?」「ついこの前5年生になったのに」と口にしています。時間があっという間に過ぎたように感じるくらい、この1年間で充実した楽しい日々になってくれていたらうれしいです。

「残り20日を切って」というテーマで作文を書いたので紹介します。

「あと20日よりも少ない5年1組での生活」

私は、この1年間で「一瞬だったな。」と思います。あと20日ほどで5年1組での生活が終わり、先生も変わり、クラスメイトも変わり、学年も上がって最高学年になります。私はとても寂しいし、とても嫌です。それは、5年1組での生活がとても「楽しかった」からだと思います。

学級閉鎖もありました。その時の時間はとても長く感じ、早く学校始まらないかなと待ち遠しく感じました。

私は20日よりも少ない5年1組での生活で、これは最後までがんばろうと思うことを2つ決めました。

1つ目は、周りを見て行動することです。周りを見て、友達などが困っていたら助けてあげようと思います。

2つ目は、最後まで全力で楽しむことです。ただ、ぼーっとして生活しても、思い出に残らないから、最後まで全力で楽しんで、最高の思い出にしたいと思います。

この2つを、最後までやりとげようと思います。

5年1組 西塚 美結

「もう少しで終わる5年生」

5年生の学年が残り20日を切りました。私は、このメンバーと一緒に勉強をがんばりました。例えば、総合的な学習の時間などの調べ学習です。みんなで調べ、みんなで学ぶことができました。

そして、この2・3学期で人付き合いについても学びました。このメンバーでの思い出は、学級全員でしたレクです。みんなが楽しめることを企画してくれて、とても楽しかったからです。

他にも、このメンバーでの思い出・楽しかったことはたくさんあります。あと20日しかないけれど、毎日を大切に、思い出をたくさん作りたいです。

5年2組 斉木 敦子

六送週間&六送会

卒業が近づいてきた6年生に感謝の気持ちを伝えたり、一緒に思い出をつくったりするために、六送週間と六送会を行いました。六送週間は、3月3日(金)~3月9日(木)の1週間、大休憩に1~5年生が企画した遊びを、6年生と一緒にするというものです。5年生は、「2月に6年生がフレンドリータイムで企画してくれた綱引きで、もう一度一緒に盛り上がりたい!」という思いから、「綱引き」を企画し、6年生と一緒に楽しみました。1組で3チーム、2組で3チームをつくり、1組対2組の形で行いました。一緒に力を合わせたり、一緒に勝った喜びや負けた悔しさを味わったりして、6年生が卒業する前に素敵な思い出を作ることができました。

六送会では、5年生は「メッセージムービー」を作成し、6年生に見てもらいました。「メッセージムービー」では、スケッチブックリレーを行いました。1人1人が6年生へのメッセージをスケッチブックに書き、それをつなぎ合わせて動画にしました。動画の撮影も、動画をつなぎ合わせる編集作業も子ども達で進めていきました。ムービーを見て、6年生から「おお!」「すごい!」といった声を聞くこともできました。

六送週間・六送会を行う中で、改めて6年生に支えてもらってきたことを認識し、4月からは自分達はその立場に立つという自覚をもつことができました。



六送会の様子です。「ありがとう」「おめでとう」の気持ちを伝えました。

